



受賞者取組内容紹介



主催 栃木県

《 事業概要 》

栃木県では、社会福祉法人等の皆さんが実施している「地域における公益的な取組」をはじめとした福祉に関する取組を促進させることを目的として、取組事例を広く収集・発信し、広く知っていただき、各法人の参考となるよう“地域で輝く ふくしのチカラ 大賞（表彰事業）”を行います。

エントリー募集期間：令和2年10月1日～12月11日

対象となる取組

地域のニーズと地域における社会資源の有無などを踏まえつつ、各法人が自主性・創意工夫に基づき実施する、地域における公益的な取組や地域の支え合い活動の取組を対象とします。

対象団体

- 栃木県内に事業所を有し、地域における公益的な取組を行う社会福祉法人
- 社会福祉事業又は社会貢献活動に類する事業を実施し、対象となる取組を行う社会福祉法人以外の法人や団体
- 上記の法人や団体が協働して対象となる取組を実施するグループなど

エントリー数 18 法人・団体 計 35取組



最優秀賞 社会福祉法人 蓬愛会

宇都宮市

取組名 『み～んなの保健室』（断らない地域丸ごと相談窓口）

■取組概要

【誰もが集えるカフェ】から【お悩み相談窓口保健室の開催】へ
地域ケア会議や認知症カフェなどの地域住民との交流や、民生委員、福祉協力員、医療・福祉経験者からの意見を交える中で、「誰かに聞いてもらいたい」「誰かと繋がりたい」という地域のニーズに対して、「すぐに解決できないかもしれないけど、私達で良ければ悩みを聞いてあげることができるよ。」「子育ての経験からアドバイスできるかもしれない」と地域住民からの提案を受け、「み～んなの保健室」の取組を開始した。

実施場所 複合型福祉コミュニティ美渉
相談員 地域協力者
（民生委員・福祉協力員・医療経験者）
開催日 毎月第1・3金曜日13：30～15：30

健康、介護、育児、障害、家族のことや心配、不安なことなど、なんでも気軽に相談できる福祉の枠を超えた『丸ごと』の相談窓口



特定非営利活動法人 グループたすけあいエプロン

塩谷郡高根沢町

取組名 共生型の常設居場所の展開 =地域コミュニティ & 行政との協働=

■取組概要

少子高齢化社会へ対応するためにも、困ったときに支えられる地域づくりが必要と感じ、活動を開始。
地域づくりの手法として「居場所」に取り組んでいる。

地域の壁や年齢にかかわらず、地域コミュニティづくりを推進するため、共生型でかつ常設型の「居場所」を週5回実施している
(2014年2月～)

実施場所 コミュニティCafe「花の丘」
開催日 毎週 月～金曜日 10:00～16:00

- ボランティアによるサポート体制の充実
- 生きがいづくりになる多くの教室を開催
- 食事を通じた懇談による地域の見守り情報の把握



こども食堂ネットワークかぬま

鹿沼市

取組名 こども食堂ネットワークかぬまの構築

■取組概要

2017年10月に初めて鹿沼市に子ども食堂第1号が誕生したのをきっかけに、2018年には数か所が設立。現在は8か所と拡大し、月1回の定例会や他団体との連携を推進している。

会員となっている8か所の子ども食堂が連携し、それぞれ開催日が重ならないように調整する等、利用者が利用しやすいようにしている。

共通無料食事券を鹿沼市社協の協力で配布し、会員子ども食堂のどこでも無料でお弁当が予約できるようにするなど、子ども食堂同士のネットワークを活かした取組を行っている。

開催日 定例会 月1回

月1回の定例会では利用者によりよい対応ができるよう互いが持つ情報を共有するほか、JAかみつがや市内の企業から、提供を受けた食材などを定例会に会員に分配し、野菜などは互いに連携して余すことなく使用するよう工夫している。